

知ってたらちょっと得かも 公的保険 公的年金

社会保険労務士 坂下 留美

本日は年金に関するニュースから注目記事をピックアップしてお届けします。「安心して年金を受け取るために3」はお休みです。

来年度の年金についての見通し

注目記事① 国民年金の保険料が値上がりします。

国民年金の保険料は現在13860円ですが、来年の4月から240円値上げされ**14100円**となります。この年金保険料を支払う必要があるのは、第1号被保険者（自営業者、学生）ですね。実は、原則毎年280円づつ値上がりすることが、2004年「年金制度化改革」で決定していたのですが、2005年は物価等が下がっているため40円の値引き！！して14100円となりました。平成19年4月から実施されます。新しく決定した金額を印字した納付書が来年2月には送られてきます。それを使って納付することになりますが、年度の開始時期に「前納」制度を利用すると割引率最大で支払いができます。納付書の前頁に前納用のものが付いていますので、金額を確認し可能であれば利用されたらよいと思います。4月を過ぎてしまってからでは1年間分の前納をすることはできません。口座振込みを利用される場合、納付額は納付書で支払う以上の割引率が適応されます。こちらは3月上旬には申し込みを終了しないと間に合いませんので、早めに申込書を市町村役場、社会保険事務所または取引銀行まで。

注目記事② 国民年金 老齢基礎年金は増額見送りになりそうです。

保険料は値上がりしたのだから、国民年金の老齢基礎年金（65歳から受け取ることができる、老齢を理由とした年金）受給金額も上がるのかしら？残念ながら増額はなさそうです。こちらも4月から来年の3月まで年度単位で支給する年金額を決定しています。今年度の国民年金 老齢基礎年金のフルペンは792100円（20歳から40年間国民年金の保険料をきちんと納めた人が一年間に受け取れる金額）でした。来年度も同じ金額に落ち着きそうです。国民年金 老齢基礎年金の受給金額は国民の生活水準（物価指数）によって上がったり下がったりします。物価が上がれば、それに連動して年金も多く受け取れるという仕組みになっています。現在、まだ今年の物価指数はでていませんが、早々に増額なしの見通しがでてしまいました。

年金受給者である我が家の祖母いわく「病院の支払いも高くなったし（3回目でお話した高齢者の医療費窓口負担割合アップが理由）、灯油は相変わらず高いし、近所のケーキ屋さんのモンブランも10円値上げだし、支払いは増えている気がするよ。。。」

年金に関してのニュースが毎日のように新聞に載っています。注目記事を見つけましたら、時事的話題としてこれからもお知らせいたします。次回もよろしくお願ひします。